



精華町の歴史と学研都市巡りコース

京都、大阪、奈良の3府県にまたがって広がるけいはんな学研都市。地元精華町の旧市街や緑豊かな学研都市の新名所を訪ね歩きます。斬新なデザインの研究施設が建ち並ぶ風景や都市内に造られた大規模な公園等を散策できるコースです。途中にはスイーツ店もあり、地元のスイーツが楽しめます。

スタート 新祝園駅 約0.6km 来迎寺 約0.1km 秧迦の池 約1.6km けいはんな記念公園 紦7.1km
稻植神社 紦1.4km ゴール 新祝園駅



クイズ

けいはんなプラザの入口付近には、ギネスブックに掲載された大きなモニュメントがあります。それは一体何でしょう。

- ① 花時計
- ② 柱時計
- ③ 日時計



コースの見所

1 来迎寺(らいこうじ)

奈良の高僧・行基が山城の国の布教拠点として、奈良時代の天平勝宝元(749)年に創建したと伝わる古寺です。山号は引接山(いんせつざん)。境内には、近松門左衛門の人形淨瑠璃作品「心中宵更申(しんじゅうよいごうしんじ)」の主人公、お千代と半兵衛の墓があります。お千代は精華町植田の大庄屋・島田平右衛門の二女で、大阪朝(おおさかうつぼ)の八百屋に嫁いだという実在の人物。ひと際目立つ立派な十三重石塔は二代目の墓石。境内には京都の自然200選の植物部門に選ばれたクスノキの巨木もあります。



2 けいはんな記念公園

学研都市建設を記念して1995年に開園した京都府立公園。国立国会図書館関西館などが並ぶ精華大通りの北側に、面積約24ヘクタールもの園地が広がります。日本の文化や風土をテーマとしており、有料区域と無料区域があります。重さ数十トンの巨石約500個が林立する空間や、高さ10mの観月橋のある水景園(すいけいえん)などは有料ですが、一見の価値あり。無料区域も里山の風情を表現した谷(や)アリエアや、芝生広場や遊具がある棚田状の広場エリアも十分楽しめます。展示などのあるビジターセンターも無料です。



9:00~17:00(入園は16:30まで) 年末年始(12/28~1/4)

有料区域「水景園」一般200円、小・中学生100円

3 秧迦の池

精華町植田地区にある南北約180m、東西約100mの農業用溜池。京都五条坂を拠点に民芸運動に取り組んだ陶芸家・河井寛次郎は、この池のある地区的風景をよく愛し、度々訪れたといわれています。雑誌「元藝」の昭和19(1944)年7月号に掲載した随筆でも、「此の村は始めから終いままで自分を魔法にかけた」と絶賛しています。溜池には珍しい「岬」のような地形が奥行きを感じさせ、季節にはマガモなどの渡り鳥も遊んでいます。



4 ル・パーティシエヤマダ

精華町通りに面したオレンジ色のシェードが印象的な人気店。苺のショートケーキをはじめ、季節の果物を使ったケーキ、製法と焼成にこだわったしっとり・もちり・ふんわりの「かすていら」などもございます。常設のカフェスペースでイートインもでき、主婦や家族連れのファンも多いお店です。



0774-95-0555 9:00~20:00

不定休



南稻八妻(みなみいなやづま)・植田両地区を氏子とする古社。口伝えによると、元祇園(もとぎおん)つまり京都八坂神社の元だと言われるほどの古い歴史を持ちます。現在の祭神は速須佐男命(たてはやすさののみこと)。創建当初は牛頭天王社(ごうづてんのうやしろ)として祀られていたが、のちに祇園社として祀られるようになったとの記録もあるといわれています。室町時代の長禄年間に、奈良の春日大社から勧請したとされる伝承も。応仁の乱などで焼失したが再建、地元で大切に祀られています。